



おいしだ

第42号 平成25年1月
国土交通省 東北地方整備局
新庄河川事務所 大石田出張所

平成 24年 12月 19日

大石田町 岩ヶ袋・海谷地区消流雪施設が完成しました！

祝 岩ヶ袋・海谷地区消流雪施設 通水式



大石田町海谷地区JAみちのく村山倉庫前において**通水式**が行われ、国土交通省・山形県・大石田町・流雪溝利用協力会などの関係者約60名の方々が出席しました。式典では、国土交通省東北地方整備局河川部長、山形県村山総合支庁長、大石田町長が挨拶し、流雪溝利用協力会の方々から流雪溝に投雪を行っていただき通水を祝いました。

大石田町は日本でも有数の豪雪地帯で、除雪作業、歩行者空間及び車の交通の阻害などにより住民の生活に大きな支障をきたしていました。

その為、地元からの強い要望を受け、国土交通省では平成20年度から約7億4000万円をかけて取水施設の整備を行い、山形県及び大石田町で流雪溝の整備を進めてきました。この施設の完成により、丹生川から汲みあげられた水が市街地の水路（流雪溝）に供給され、除雪作業の軽減と、安全な生活環境の実現が図られます。



▲ 流雪溝へ投雪開始

左側より

- 流雪溝利用協力会 工藤副会長
- 流雪溝利用協力会 早坂会長



▲ 事業経過報告

- 新庄河川事務所 大石田出張所 阿部所長

▲ 通水開始（ポンプ操作）

左側より

- 国土交通省 東北地方整備局 河川部 工藤部長
- 大石田町 庄司町長
- 岩ヶ袋・海谷地区流雪溝利用協力会 早坂会長
- 山形県 村山総合支庁 土海支庁長

「施設は行政、活かすは住民」



▲ 流雪溝利用協力会早坂会長より
熱いお言葉をいただきました。

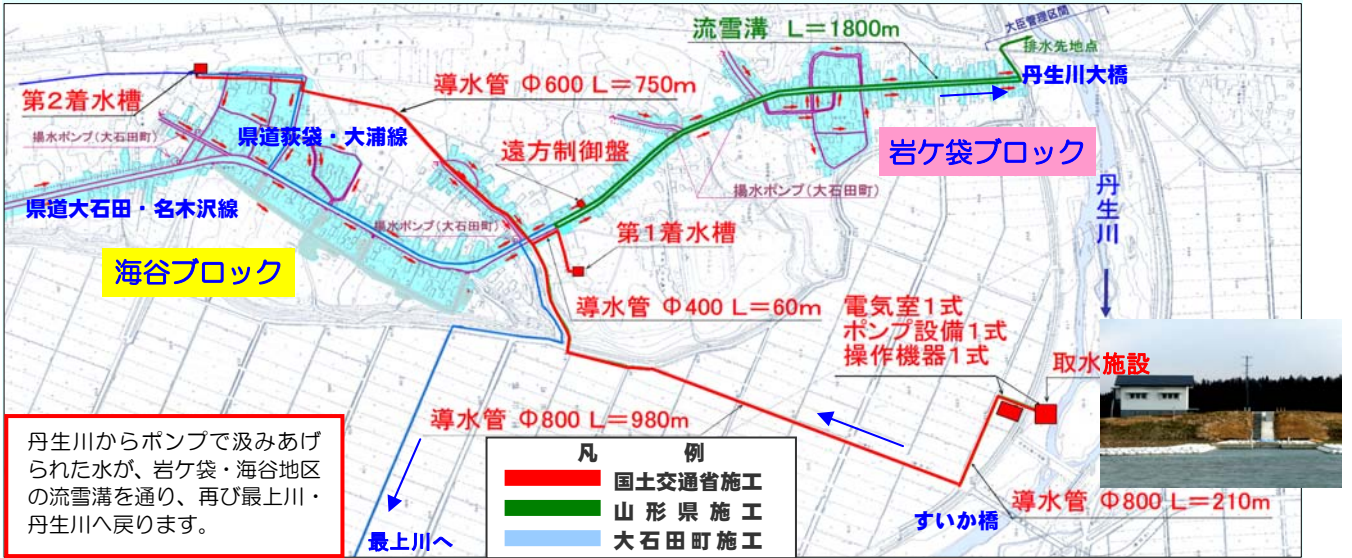


▲ 管理運営への引継ぎ

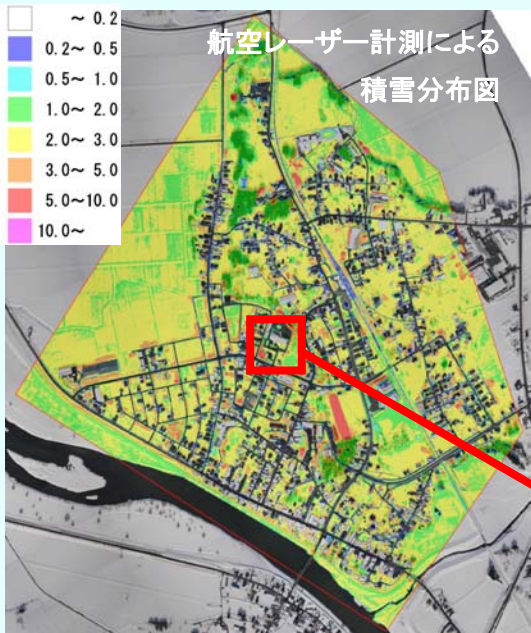
左側より

- 流雪溝利用協力会 早坂会長
- 国土交通省 新庄河川事務所 花岡事務所長

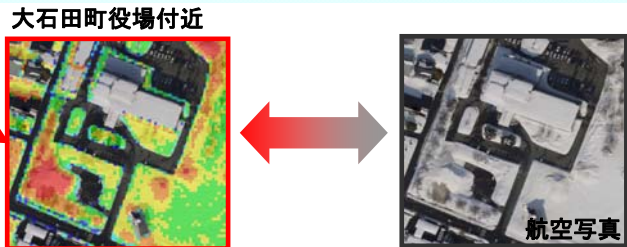
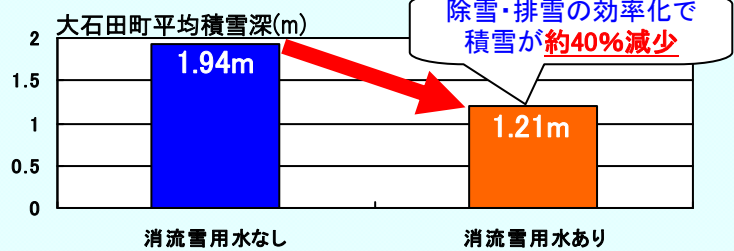
岩ヶ袋・海谷地区消流雪施設の導水経路



消流雪施設の導入効果について



航空レーザー計測を活用して積雪分布を調査・解析した結果、大石田地区の消流雪整備箇所と未整備箇所の積雪について、消流雪施設を導入することで積雪が約40%減少することがわかりました。

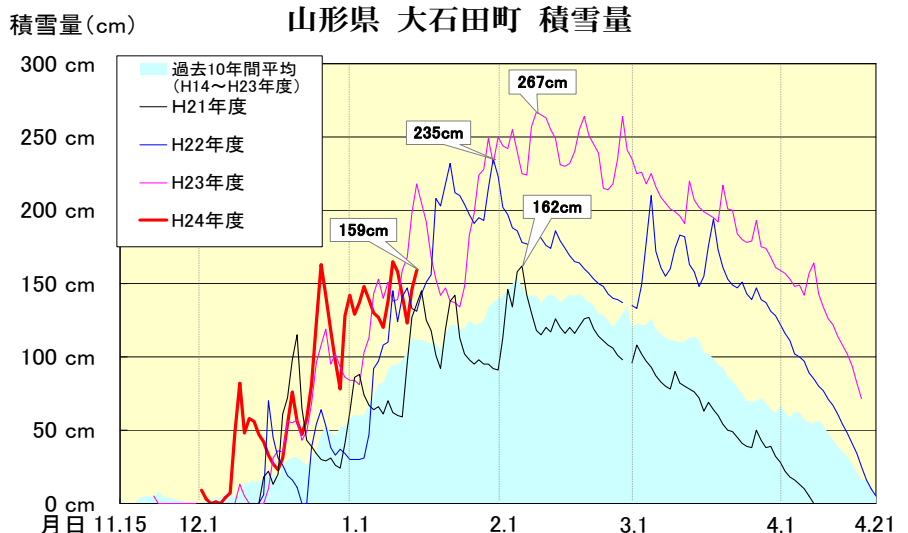


今年度の積雪量は・・・？

昨年度は記録的な大雪で、最高積雪量267cmを記録しました。今年度も、早い時期から降り始め、昨年度に匹敵するペースで降り積もり、雪下ろし中の事故も発生しております。

雪下ろしを行う際は、必ず安全帯（命綱）を使用し、2人以上で作業するなどの安全対策をし、くれぐれも事故のない様にご注意ください。

(平成25年1月16日現在)
積雪量159cm



亀井田橋架替工事の進捗状況

平成 25 年 1 月 16 日現在

昨年8月から進められている亀井田橋架替工事（橋梁下部工）は、現在、新しい橋台を施工するために地盤を掘り下げていく作業をしております。地盤を掘り下げる際、県道が崩れないように周囲に土留め用の「鋼矢板」を打ち込んでから掘り始めます。



◎ なぜ、雪が降る時期に工事をするの？

冬期間の作業効率は夏場に比べかなり下がりますが、雨が降らないこの時期は河川の水位が安定するため、堤防を削削する工事にとっては今が最適期になります。

樹木伐採の希望者を募集します！

樹木伐採の希望者を募集します。ご希望の方は、決められた区画ごとに伐採していただき、伐採した樹木は無償で提供いたします。薪などに有効にご活用ください。

受付期間 平成25年2月28日まで（ただし予定区画に達したら終了）

伐採作業 平成25年1月19日～平成25年3月29日



◎ 河川敷の樹木を伐採する目的

- ・洪水時に川の流れを阻害したり、流木が橋や堰などに引っかかり洪水被害を大きくする恐れがあるため
- ・河川を巡視する際に視界をさえぎり、ゴミの不法投棄の発見が遅れるなど監視の妨げとなるため

◎ 伐採募集区画

尾花沢市：大向地区、 大石田町：西畑・白鷺地区



拡大図



大石田出張所にペレットストーブを設置しました



大石田出張所では、山形県のエネルギー戦略に協調し、木質バイオマスエネルギー（再生可能なエネルギー）を活用するためペレットストーブを設置しました。

なお、ペレットストーブは灯油を使わないため、油流出事故防止にもなります。

（燃料）

木質ペレット：主に森林の「間伐材」や「かなん屑」を原料として、圧縮成形したもの

掲示板 大石田管内「河川愛護モニター」さんより

大山 二郎 さん (大石田町) より



毎日寒い日が続きます。冬は最上川も濁水期で水面も穏やかです。この時期をとらえて今年3月末まで大石田大橋の延命のための塗装工事が行われていました。この大石田大橋、1930（昭和5）年12月7日に渡り初めが行われ、現在では歴史的鋼橋物として実に82年以上も人々の往来を支えている。完成を祝い開かれた花火大会が戦中戦後の一時期を除き現在まで続き、大石田の夏を彩るなど、大石田大橋は町のシンボルの一つになっている。

現在の大石田大橋は二代目。渡船に代わり、初代の木橋が架けられたのは1901（明治34）年のこと。鉄道「官有鉄道奥羽南線」（現奥羽本線）の大石田開通に合わせて建設された。大正時代の写真では、多くの人が木製大橋を行き交う姿を確認することができる。

現在の大石田大橋は鉄橋で、長さ145.8メートル。鉄骨が橋脚の上を頂点に緩やかにカーブする造形が特徴的だ。一説には、ここが最上川で一番狭いのではとも言われています。



大石田大橋

戸田 志津子 さん (尾花沢市) より

時々、あつたまりランドの近くを通ると山の中に幻想的な建物が見えるので、なんだろうといつも見ていました。

なので、あつたまりランドのすぐ近くの黒滝橋から見てきました。

「向川寺」の建物と橋と川が見事にマッチしてとても素敵でした。



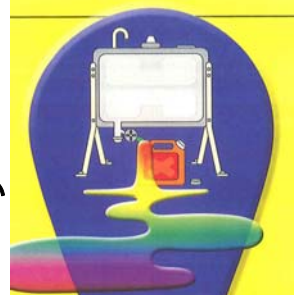
事故を起こした場合や発見した場合は、消防署・警察署・市町村役場・国や県の機関等へご連絡を！

毎年、油の流出事故が多発しています！

一般家庭のホームタンクや事業所のタンクから灯油などの油が漏れだして、河川などへ流れ出す事故が増えています。事故の殆どが人的ミスによるもの！重大な被害が発生する可能性があります。十分に気を付けましょう！

油断大敵

- 灯油を小分けするときはその場を離れない・目を離さない
- 配管場所が雪でわからなくならないように目印をする
- 定期点検をおこたらない



河川に関するご意見をお寄せ下さい



大石田特殊堤の冬景色

国土交通省 新庄河川事務所 大石田出張所 担当 阿部・鈴木
〒 999-4113 大石田町大字今宿字麓の原466-2
TEL 0237-35-2024 FAX 0237-35-2354